

講義名	研究演習（全学部）		
講義コード	25219	授業形態	
担当教員	桑原 桃音	備考	
		開講期・曜日・時限	後期 火曜日 5時限

学部・学科	演習分野
全学部全学科選択可能	桑原桃音ゼミナール（メディア論、家族社会学）

概要説明

【概要】  
ゆるく、楽しく、でもゼミ生みんなと一緒に頑張りたいと思える。そんなゼミを目指し、そんなゼミ生ばかりが日々頑張っているのが桑原ゼミです。本を読みたい、文章をうまく書けるようになりたい、興味のあることを学術的に探索・研究したいけど苦手意識がある人でも、卒業論文が書けるように、ステップに指導していきます。問題意識を持ち、問いを立て、資料を収集し、資料を読み・分析し、他者に伝わるように文章で表現したり、プレゼンテーションをしたりする能力を培います。このような能力は大学を卒業した後も公私ともに役立つ、人生を豊かにするときもあります。

テーマは学生の興味関心を優先するが、おもに教員が専門とする、家族、ジェンダー、セクシュアリティ、恋愛、結婚、若者、日本文化、サカルチャー、メディア等について社会的に分析・考察していく。近現代メディアを主たる分析対象とします。

先行研究を読み、資料を分析、考察するなかで、ディスカッション、プレゼンテーション、文章作成の能力を身につけてもらいます。関連するテキストの輪読・分析、資料の内容分析、必要があればフィールドワークなどを行い、レポートを、最終的に卒業論文を作成します。

また、新型コロナウイルスの感染状況をみながらですが中間報告会、ゼミ合宿、就活相談会などを通して学年に関係なくゼミ生同士が交流しながら、一緒に成長できる機会を設ける予定です。もちろん交流を深めるレクリエーションもあります。

【各年の計画】  
【研究演習Ⅰ】  
夏休みを作成してもらう課題をもとに自己紹介をしてもらいます。自分の研究したいテーマやゼミのテーマにかかわる資料、基本文献など収集、読解して発表をします。書籍を1冊以上しっかり読んで理解する能力、論理的な文章を書く能力、プレゼンテーションの能力を培います。教科書：桑田てるみ編『学生のレポート・論文作成トレーニング（改訂版）』（実教出版）。

【研究演習Ⅱ】  
卒業研究・論文に向けて、各自の興味あるテーマに関する文献を収集します。まとめて発表してもらいます。最終的に書評にしあげます。リサーチクエストの切り出し方、参考文献、調査方法、調査データのまとめかたを学びながら、発表、論文の書き方などのアカデミック・ライティングのスキルを培います。最終的に研究計画書を作成し、レポートにまとめます。

【卒業研究】  
各自、テーマを決めて卒業研究に取り組みます。先行研究のまとめ、一次資料の分析結果などを発表してもらいます。最終的に卒業論文を執筆します。

卒業論文を書いた先輩が「いやぁ、卒論を書いた経験は今後何があっても乗り越えられるという自信になりますねえ」と言っていました。このような大学生時に感じた自己効力感（就職した後も役立つという調査結果もあります）（詳細はゼミにて説明）。そんな自己効力感がどのゼミ生も持てるよう所懸命に指導していきますと考えていますので、どうぞよろしくお願いたします。

上記はあくまで予定です。ゼミ生の学部、社会学の知識、研究したい内容、興味などを確認しながら、メンバー全員で相談しながらゼミをすすめていきましょう。

【補足】  
家族、恋愛、結婚、セクシュアリティ、性的指向に関するテーマを取り上げることが可能ですが、自分の経験を話す必要は特にありませんので、ご安心ください。ゼミの参加者はこのような発言を強要してはいけません。あくまで、資料から問題関心の答えやそのヒントを得ることを目指してください。

【就活支援】  
2021年度4年生の内定者は6名中6名です。就活指導や連絡もこまめにしているつもりです。「研究演習Ⅱ」まで単位取得したが「卒業研究」は受講しない学生に対しては、内定が得られるまで学修、就活関連のアドバイスやサポートをしています。あまり役に立ってないかもしれませんが「就活しんどいなか、また就活後も頼れる大人が1人でも多い方がいいだろう」というスタンスでサポートしています。ただし、「卒業研究」を履修せずにサポートを受けたい学生は、卒業論文の提出ができない点、RYUKA Portal経由のゼミ関連の連絡がシステム上受け取れない点を理解しておいてください。

主な卒業論文のタイトル

卒業論文タイトル  
大阪府箕面市、豊中市、吹田市における公共交通政策の比較分析-- 公共交通バス政策としての広域連合の可能性の検証」  
以下は過去のゼミ生の研究演習受講時の研究テーマです。  
「現代の結婚 結婚したくてもできない人について」  
「女子校出身者が感じる異性・同性との友情の違和感について」  
「『推し活』における男女の違い」  
「『推し』は理想の相手像と影響するか」  
「アイドルゲームの歴史とこれからの展望」  
「ゲーム実況で人気になるには 新人ゲーム実況者のためのルートマップ」  
「『機動戦士ガンダム』で表現されている全体主義化」  
「日本映画業界の期待と現実」  
「古い人が々にもたらす効果」  
「コンテンツツーリズムの影響とその背景」  
「日本における黒人差別に対する捉え方をSNSコメントから探る」  
「現代の日本人のクルマ離れ」  
「日本の警察官の拳銃所持は必要なのか」

教員よりの要望

○社会的な思考枠組みを学びながら、メディアを資料として人の生や家族にかかわる問題を取り扱います。その問題を調査・研究して文章やPPTにしてプレゼンテーションをします。したがって、次のような学生を求めます。  
・本を読んで、文章を書きたい、苦手意識はあるが本を読めるようになりたい、文章が書けるようになりたいという意欲がある。  
・課題を締め切りまでに完成させて、提出することができる。  
・議論や意見交換ができ、さらにグループで成果物を完成させることができる。  
・人や集団に対して偏見をもたない、人に対して尊重の気持ちをもてる。

○友人、先輩、後輩、家族と同じように卒業論文を書いて卒業したい人、就活中、就職後に自分の調査・研究していること/したことについて話せる程度にはなりたい人に向けています。

○3年間に1度は書評コンテストや新聞への意見投稿を課していますので、そのような活動へ積極的に参加したい人を見ます。

選考方法

・提出された書類、面談、面談前後に行うメールのやり取りの内容で選考します。  
・所定の期間に面談予定メール・アドレス、メールに書くべき内容を掲示します。メールのマナーが目にする学生は面談をお断りする場合があります（わからなければインターネット等で調べ）。  
・年々、ゼミ志望者が定員を上回るようになってきました。何を頑張ってきたのかの志望理由書を誤字脱字がなくしっかり書き、面談をしっかり受けることが選考通過の必須条件となっています。気を付けましょう。

評価方法

- ・出席、課題提出、発表、積極的な授業参加などを総合して評価します。
- ・課題や成果物はteamsへ提出してもらうことがあります。
- ・ゼミでは発表、コメント、ディスカッション等、卒論に向けての指導があります。たとえば、発表の日に欠席があると他のゼミ生の時間を同時に削ることにあります。したがって、無断欠席が複数回続いた場合は、単位不認定とします。
- ・欠席した日の内容は必ず他のゼミ生に関して、準備や課題を済ませて次の回に臨むこと。準備ができていない場合は減点になる場合があるので気をつけること。

教員英字氏名	研究室
Kuwabara Momone	研究棟V 5422教室

最終学歴

龍谷大学大学院社会学研究科社会学専攻 博士後期課程 単位取得後退学

学位

博士（社会学）

主な研究活動・社会活動・研究業績

【現在の研究テーマ】  
・戦前戦後における配偶者選択に関する歴史社会学的研究 その連続と断絶について  
・ティーンズ誌『セプティーン』における女子中高生の恋愛・恋愛言説分析

【主な研究業績】  
・筆者：『大正期の結婚相談 家と恋愛にゆらく人々』晃洋書房（2017）  
・私：『私』を書くことがもたらした境界の揺らぎ：1930年代『東京朝日新聞』『女性相談』と山田わか回答、『女たちの翼 アジア初期近代における女性のリテラシーと境界侵犯的活動』青木恵理子編、ナカニシヤ出版（2018）  
・『1970-1990年代の『セプティーン』にみる女子中高生の恋愛言説の変容』小山静子、赤枝香奈子、今田絵里香編『セクシュアリティの戦後史』京都大学学術出版会（2014）

（そのほかの業績は流通科学大学のHPの教員プロフィールを参照）

趣味・特技

趣味は音楽鑑賞、ライブ鑑賞です。洋楽、邦楽、韓流、ジャンルに関係なく何でも聴くようにしています。好きなアーティストや楽曲を教えてもらえると小躍りするくらいうれいです。あと、ホラーゲームとホラーゲームのゲーム実況をみるのが好きです。

所属

人間社会学部 人間社会学科

所属学会

・関西社会学会、ジェンダー史学会、日本家族社会学会、日本社会学会、日本女性学会、日本マス・コミュニケーション学会、社会調査協会

専門分野

社会学（おもに家族社会学）、ジェンダー/セクシュアリティ研究、メディア論（おもにメディア史）

担当科目

自己発見とキャリア開発A、自己発見とキャリア開発B、社会学基礎（前期、後期）、メディア論、キャリア社会学、ジェンダー論、社会構造論、社会調査実習Ⅰ、社会調査実習Ⅱ、研究演習、研究演習、卒業研究

備考

・teams、Zoom、レスポ、OneDriveを使用できるように準備しておいてください。  
・個人面談を行います。個人面談については通学困難者がどうにか関係なくZoomで対応可能です。  
・通学困難者は、ゼミ時間にZoomを用いてオンラインで授業に参加できるようにしてください。

・感染者、または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される学生への対応について  
1）欠席しなければならぬ授業の実施日以降の2週間以内に、授業時で指定した問合せ先へメールすること。  
2）教員が指示した課題を、指定した締め切りまでに提出する。  
3）復帰後の授業中に課題の提出確認等を行う。

実務経験の有無及び活用